



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2021 5/1

Volume

53

新たななる「人知還流」・「人格陶冶」を目指して

- 3P | トピックス
令和2年度学位記授与式
- 4P | 教育連携・研究支援
数理・データサイエンス教育強化
拠点コンソーシアムの代表校と
なりました
- 5P | 学生活動
令和2年度 部・サークル活動実績
- 6P | 就職・キャリア支援
OB・OG対話を開催しました
- 7P | 新入教員挨拶・新入職員挨拶



新たなる 「人知還流」・「人格陶冶」 を目指して



公立大学法人
公立千歳科学技術大学
理事長・学長

宮永 喜一

本学は、千歳市の産学研究及び地域活性化の拠点となることを目指し、1998年(平成10年)に千歳市が出資し民間の学校法人が運営する公設民営の私立大学として開学しました。その期間、産・学・官が一体となり、光科学の分野において、高い水準の研究を展開し、多様な分野で活躍する人材を、社会に輩出してきました。建学の精神は、「人知還流」・「人格陶冶」であり、社会と共に発展する大学を目指し、本学を卒業・修了し、巣立ってゆく人材は、主体的に考え自ら行動する研究者、技術者として、社会に貢献すると謡っております。

2019年(平成31年/令和元年)には「公立千歳科学技術大学」として新たな出発を果たし、地域に深く根付きながら

未来へ挑戦する知の創造を担う大学として、実のある地域連携の推進、多様な教育プログラムの実現、グローバルな研究力強化を目指しています。例えば、実質的な地域連携として、千歳市と共同で、自然環境との共生を可能にする持続可能な循環型地域の実現に向け、「スマートネイチャーシティちとせ」(SNC)構想をすでに展開しています。

持続可能な社会の実現に欠かせない科学技術は、従来の枠にとらわれない発想にもとづく“新しい研究領域”の創生によるイノベーションから生まれます。そのためには新しい技術への挑戦に興味のある学生を、さまざまな要求に応えるために高度な研究を行う、優れた人材へ育成することが大切です。イノベーションの創出は、地域連携・再生・発展の重要な要素であり、また同時に、世界的な課題解決を進めるうえでも重要なことです。それに向けての人材育成は、グローバル社会を持続的に発展させるための、重要な課題と考えられます。基本的な研究力を身に付け、多様な領域で活躍できる研究者が今望まれています。

現在、わが国には、94の公立大学があります。その中で、理工学部を有する大学は本学だけです。また、2021年(令和3年)4月からは、分野横断的に、異分野連携研究を実質的に推進するため理工学研究科としました。今までの実績を背景に、社会をより豊かで安全・安心なものに進化させる先進的な複数の領域を行き来し、各領域間の異分野連携を促進することで、新たなる課題を、速やかに解決できる力を有する人材の育成を目指します。博士前期課程と博士後期課程の大学院の学生とともに、優れたイノベーションを生み出したいと考えています。

本学の理念は、

1. 理工学分野をはじめとする幅広い教育と研究を通して、高い知性とすぐれた人格を有する世に為なる人材を育成するとともに、学術・産業の振興に貢献する
2. 知の拠点として大学が有する人材と知恵を社会に提供し、地域との共生を通して、社会とともに発展する大学を目指す

であり、グローバル時代における、「人知還流」・「人格陶冶」を目指したいと考えています。

令和2年度学位記授与式を挙りました

令和3年3月20日(土)、北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)において令和2年度公立千歳科学技術大学・大学院学位記授与式を挙りました。新型コロナウイルス感染症対策として、列席者を限定し、式典の規模を縮小して挙りました。

開式の辞の後、学部卒業生、大学院修了生の代表学生に川瀬正明前学長より学位記が手渡されました。その後、学長式辞、山口幸太郎千歳市長並びに佐々木雅宏千歳市議会議長からそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

続いて、学生表彰が行われ、大学院光科学研究科博士前期課程中村郁哉さん、阿部晃大さん、理工学部応用化学生物学科渡邊純平さん、小川真由さん、理工学部電子光工学科杉田大祈さん、山崎隆斗さん、理工学部情報システム工学科城裕太郎さんに佐々木記念賞が授与され、その中から、応用化学生物学科の渡邊純平さんが、卒業生・修了生を代表して答辞を述べられ、式は滞りなく終了しました。

本学を巣立っていく卒業生、修了生は4月から就職して社会の第一線で活躍する者、自分の専門をさらに深く研究するため進学する者等々、皆それぞれの新たな道を踏み出しますが、より一層の飛躍を期待しています。



山口 幸太郎千歳市長



渡邊 純平さん

令和3年度入学式を実施しました

令和3年4月2日(金)、北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)において令和3年度公立千歳科学技術大学・大学院入学式を挙り、理工学部274名、大学院理工学研究科25名、計299名が新たな一歩を踏み出しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、列席者を限定し、式典の規模を縮小して挙りました。

式では、宮永喜一学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の清川佑真さんによる宣誓が行われました。また、山口幸太郎千歳市長、佐々木雅宏千歳市議会議長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。



清川 佑真さん

第22回佐々木記念賞を授与しました

令和3年3月20日(土)に挙りした学位記授与式において、「佐々木記念賞」の授与が行われ、下記の大学院生2名と学部生6名に表彰状と副賞を贈呈しました。

- 大学院光科学研究科博士前期課程
 - 中村 郁哉さん
 - 阿部 晃大さん
- 理工学部応用化学生物学科
 - 渡邊 純平さん
 - 小川 真由さん
- 理工学部電子光工学科
 - 杉田 大祈さん
 - 山崎 隆斗さん
- 理工学部情報システム工学科
 - 及川 璃音さん
 - 城 裕太郎さん

佐々木記念賞について

本学の開学に尽力した初代学長・佐々木敬教授(1936~1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生及び学術・研究に関し成績優秀又は顕著な業績があった大学院生に対し、授与します。

大学院の名称を変更しました

令和3年4月1日より大学院光科学研究科を大学院理工学研究科に名称変更しました。

情報科学、システム工学、応用化学、生物学など、理工学全般にわたっての異分野連携に係る教育研究を推進します。

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムの代表校となりました

2020年12月8日付で、本学が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 北海道・東北ブロック(17校)の代表校となりました。コンソーシアムの詳細については、コンソーシアムホームページ(<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/>)をご覧ください。

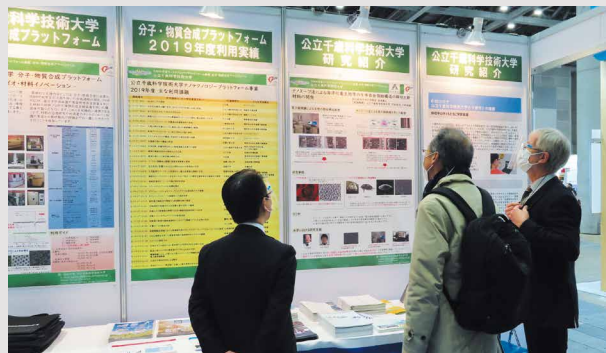
本学におけるデータサイエンス教育の取り組みについて

本学は、理工系単科大学の中に生物・化学・物理・電子・通信・情報に関連する領域が複合するカリキュラム体系を組んでいます。こうした専門領域に数理・情報を基盤とした学習体系を組み合わせるため、令和3年度入学生より学科配属時期を1年次後半から2年次前半まで延長し、共通基盤教育の拡充を行うことにしています。この基盤教育のコアに数理・データサイエンス教育を据えるため、検討WGを学長企画室内で立ち上げ、北海道大学の連携校として、情報の提供を受けながら実施体制を構築しています。

「nanotech2021」に出展しました

2020年12月9日(水)～11日(金)の3日間にわたり、「nanotech2021」が東京ビッグサイトにて開催されました。本学は千歳市及びNPO法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)と合同で出展し、主に文部科学省委託事業である「分子・物質合成プラットフォーム」について、事業の概要や支援内容について紹介しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、完全WEB来場登録制及び規模を縮小しての開催でしたが、会期中100名以上の皆様が本学ブースにお立ち寄りくださいました。
※3日間の来場者数(同時開催16展合計)10,615名



文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業に採択されました

2021年3月4日(木)、文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業に本学が採択されました。

本事業は、ナノテクノロジープラットフォーム事業の優良な基盤を活用・高度化し、共用基盤を我が国全体として整備・充実させ、高品質なマテリアルデータを戦略的に収集・蓄積・流通・活用できる仕組みを持つ、マテリアル研究インフラのプラットフォームを整備することを目的としています。

本学では、これまでの分子・物質合成プラットフォーム事業で蓄積した設備・技術等の共用化のノウハウを活かし、マテリアル研究インフラのプラットフォーム構築に貢献します。

道内4高专包括連携協定を締結しました

2021年4月26日(月)、本学と函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校の5校による包括連携協定を締結し、調印式を執り行いました。

この協定では、双方の知見の理解と教育・研究に関して、連携活動に必要な情報の共有に努め、相互に連絡協力し発展に資することを目的としています。



学 生活動

2020(令和2)年度 部・サークル活動実績

男子バスケットボール部

- ・男子第72回北海道大学バスケットボール選手権大会 4部リーグ 優勝

YOSAKOIソーラン部

- ・新入生歓迎演舞

卓球部

- ・第53回会長杯争奪卓球大会 男子シングルス 初戦敗退
- ・2020年度北海道秋季学生卓球選手権大会 男子シングルス 二回戦進出、初戦敗退 男子ダブルス 初戦敗退 男子団体 予選リーグF 2位

軽音学部

- ・公立千歳科学技術大学体育館 部内ライブ

写真部

- ・第15回花と緑の写真コンテスト 応募
- ・撮影会(道の駅サーモンパーク千歳周辺)
- ・撮影会(円山動物園・北海道神宮)
- ・第15回花と緑の写真コンテスト 銅賞1名
- ・撮影会(小樽市街地)
- ・撮影会(民族共生象徴空間ウポポイ)

ライトアート工房

- ・イロイロリビング「Creative of living #2」でのポスター作品展示
- ・イロイロリビング 歯ブラシリサイクルに関するフライヤー制作
- ・イロイロリビングにおける展示会「公立千歳科学技術大学ふちミュージアム cycle of art」の実施

理工工房

- ・東京美装 職場体験生(千歳高等支援学校1年生) 科学体験実施(2回)
- ・認定こども園千歳春日保育園 科学実験体験実施(2回)
- ・リフレッシュ理科教室(サイエンスオリエンテリング2020in札幌) 参加
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業実施(2回)
- ・科学の祭典・札幌清田大会 参加
- ・認定こども園つばさ 科学実験体験実施(2回)
- ・認定こども園ひまわり 科学実験体験実施(2回)
- ・千歳市緑小学校5年生 実験授業実施
- ・平取町公営塾びらとり義経塾 理科実験教室実施

CCC(CIST Cycling Circle)

- ・上野幌-夕張 ライド 約170km
- ・千歳-小樽 ライド 約170km
- ・札幌-稚内 ライド 約320km
- ・新札幌-滝野霊園-旭山記念公園 ライド 約80km
- ・スキー&スノーボード in ONZE

サバイバルゲームサークル

- ・サバイバルゲームフィールド皆での定例会へ参加
- ・ホビーショップキッズドラゴンでのインドアゲームの開催

ポケモンサークル疾風の翼

- ・全国ポケモンサークルリーグ 北海道予選4位(予選敗退)

プログラミングサークル

- ・Zoomにてフローチャート及びC言語の講習
- ・ZoomにてラズパイとPythonの紹介
- ・ZoomにてHTMLの講習会

イラストサークル

- ・第一回作品集『未完』制作

就 職・キャリア支援

若年求職者向け就職支援セミナー ちとせローカルイノベーションセミナーを開催しました

2020年12月16日(水)に「若年求職者向け就職支援セミナー」及び「ちとせローカルイノベーションセミナー」を本学で開催しました。この事業は千歳市と共催で実施しています。

若年求職者向け就職支援セミナーでは、株式会社ケイシイシイ 経営管理部長の小松弘宜さんをお招きし、「どんな企業も欲しい令和時代の就活思考法」と題して、採用担当者としての観点から採用のリアルについて、考え方、テクニックも含めてお話いただきました。

ちとせローカルイノベーションセミナーでは、株式会社キットアライブ 代表取締役社長の嘉屋雄大さんをお招きし、「起業後に経験した3つの失敗～成功を掴むために心がけていること～」と題し、ご自身の経験談を踏まえ、自ら考え行動する大切さをお話いただきました。参加者からは、「就活について改めてよく考えるよい機会になり、ためになりました」、「常になにか改善することを念頭に置いて、勉強を含めた活動を行っていきたいと思います。」という感想が寄せられました。

企業と大学の情報交換会を開催しました

企業と大学の情報交換会を実施しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでの実施となりましたが、2020年11月19日(木)は139社、2020年12月10日(木)は106社の参加がありました。

個別の情報交換会では、参加企業の皆様と本学教職員との活発な意見交換が行われました。新型コロナウイルス感染症の拡大及びそれに関連した社会情勢の激変により、ご多忙中にもかかわらず多数の企業様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。当日のプログラムは右記の通りです。

- 開会挨拶・お知らせなど
- 学長挨拶(前学長 川瀬 正明)
- 個別情報交換
- インターンシップ参加学生による成果発表

OB・OG対話を開催しました

2021年1月19日(火)に、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。今年度は昨今の状況を踏まえオンラインで実施し、9社9名の卒業生の方々に協力いただきました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。参加した学生からは、「漠然としていた「就職」へのイメージがはっきりとし、就職した際の自分をイメージすることができた」、「就職に向き合う自分の中の変化を感じた」などの声が聞かれ、自身の就職活動や就職後の働き方などについて、改めて考えるきっかけになった様子が伺えました。

ご参加いただいた皆様
(企業名順)

- 株式会社インフラトップ
- 株式会社カミノ
- 北海道富士電機株式会社
- NEC ソリューションイノベータ株式会社
- KDDI 株式会社
- 武蔵エンジニアリング株式会社
- エヌ・ティ・ティ・ワールドエンジニアリングマリン株式会社
- 株式会社ジーシー
- リコージャパン株式会社

学内業界研究セミナーを開催しました

2021年2月15日(月)～19(金)の5日間の日程で、オンラインにて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中291社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動向け、ミスマッチがおきないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をさせていただき、これから本番を迎える就職活動に向け、意識が高まった様子でした。

求人数・就職率

■求人票数(令和3年3月31日現在)

650件

■令和2年度卒業生の進路状況(令和3年3月31日現在)

就職決定者 **145**名

就職率 **98.0%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **94.8%**

※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業者数-進学決定者数)

令和2年度卒業生の進路状況

令和2年度はコロナ禍の影響により、就職活動の流れが大きく変わりましたが、そのような状況への的確な対応と支援により、早期に多くの学生が内定を獲得しました。早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職支援を行ったため、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 令和2年度卒業生実績(五十音順)

- 株式会社アーキビジョン二十一 ■株式会社IS1Dインターテクノロジー ■アイトックソリューションズ株式会社 ■株式会社アウトソーシングテクノロジー
- 株式会社あらた ■株式会社アルトナー ■株式会社アルプス技研 ■石狩東部広域水道企業団 ■株式会社中セキ北海道 ■株式会社出光プランテック北海道
- 岩井機械工業株式会社 ■株式会社インサイトテクノロジー ■株式会社エイチ・アイ・ティ ■エイチ・テー・ビー映像株式会社 ■株式会社HBA ■株式会社エクシオテック ■株式会社エスイーシー ■エスエイティーティー株式会社 ■株式会社江戸屋 ■NDS.TS 株式会社 ■エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社
- 株式会社 NTT 東日本 - 北海道 ■榎本ピーエー株式会社 ■株式会社エフピーエス ■株式会社オーレンス ■カーズ株式会社 ■海上自衛隊 ■川上産業株式会社 ■医療法人 湊仁会 湊仁会円山クリニック ■株式会社 コーンズ・エージー ■株式会社 三技協 ■株式会社 C1J ■ジャパンエレベーターサービス
- ホールディングス株式会社 ■株式会社 ジャパンテックニカルソフトウェア ■株式会社 新和 ■住電通信エンジニアリング株式会社 ■セメダイン株式会社
- 株式会社 創夢 ■ダイヤモンドヘッド株式会社 ■株式会社 ダイナックス ■WDB株式会社 エウレカ社 ■チトセ浜理薬品株式会社 ■中央コンピューターサービス株式会社 ■株式会社 つうけん ■株式会社 通電技術 ■ティー・ディーコーポレーション株式会社 ■株式会社 テクタス ■株式会社 寺岡北海道
- 東光薬品工業株式会社 ■東テック北海道株式会社 ■東洋ワークセキュリティ株式会社 ■株式会社 ドコモCS北海道 ■苫小牧信用金庫 ■苫東ファーム株式会社 ■トライス株式会社 ■Trustia 株式会社 ■株式会社 なか卯 ■株式会社 ニスコ ■日興電気通信株式会社 ■株式会社 ニッセイコム ■日本システムウェア株式会社 ■株式会社 ニッポンダイナミックシステムズ ■日本システムワープ株式会社 ■日本通信エレクトロニック株式会社 ■日本マニファクチャリングサービス株式会社 ■株式会社 ネットクス ■株式会社 ネットステージ ■ネットヨタ道都株式会社 ■株式会社 ハードオフコーポレーション ■パイブHD株式会社 ■株式会社 ハイマックス ■光情報通信株式会社 ■株式会社 日立社会情報サービス ■株式会社 日立ビルシステム ■株式会社 ビックボイス ■富士通株式会社 ■株式会社 芙蓉ビデオエージェンシー ■株式会社 プリンガ ■株式会社 ProVision ■株式会社 ホープス ■ホシザキ北海道株式会社 ■北海道エネルギー株式会社 ■北海道技術職 ■北海道教育委員会教育職員 ■北海道教育委員会(期限付き教育職員) ■北海道コンテンツソリューション株式会社
- 株式会社 北海道ジェイ・アール・システム開発 ■株式会社 北海道中央牧場 ■北海道旅客鉄道株式会社 ■三島町役場(福島県) ■三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ■三菱マテリアル株式会社 ■株式会社 ミライト ■美和電気工業株式会社 ■武蔵エンジニアリング株式会社 ■株式会社 メイテックフィルダーズ ■メイビズデザイン株式会社 ■株式会社 メディセオ ■株式会社 ユニシス ■横山食品株式会社 ■株式会社 レブニース ■練成会グループ ■株式会社 ワールドソフト・イーエス

●大学院進学

- 公立千歳科学技術大学大学院

名誉教授称号授与式

2021年度名誉教授称号授与式を執り行いました。名誉教授称号は、教育上又は学術上の功績が特に顕著であった方へ授与するもので、今回は川瀬正明前理事長・学長に授与されました。

宮永理事長・学長から名誉教授称号記が手渡され、本学への貢献に対し感謝の言葉が述べられました。



新入教員挨拶

有機化学の魅力発信と 人材育成

応用化学生物学科 教授 堀野 良和



本年4月に応用化学生物学科に着任致しました。専門分野は有機合成化学です。目に見えない分子を設計して組み立てる「分子の建築家」としてのものづくりと、その分子を効率的に合成するための技術開発に取り組んでいます。有機化学は単純な分子から高い価値を生み出す力を持っていて、そこに魅力を感じています。

現在、学生の皆さんには、グローバル人材、SDGs、数理・データサイエンスなど自分の専門分野以外にも多くのことが求められています。有機化学を通して大学での学びの必要性を実感してもらい、変化の激しい時代を生き抜くための知恵と胆力を身に付けて欲しいと願っています。大学の責務としての教育と研究はもちろんのこと、本学の使命の一つでもある地域貢献の諸活動にも積極的に取り組んで参ります。皆様のお力添えをいただきながら、これまでの経験を活かして本学の発展のために精進努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

柔軟なセキュリティの 実現を目指して

情報システム工学科 准教授 高野 泰洋



情報通信やセキュリティ分野のテーマの教育研究を統計的信号処理や情報理論的なアプローチから取り組んでいます。Society 5.0の実現に向けEdge AI / IoTシステムが注目を集めていますが、これら

のネットワーク・ノード間に高速、高信頼かつ安全な通信が求められています。IoT向け軽量暗号の開発が進みつつありますが、軽量化と安全性のトレードオフが懸念されます。そこで、本研究室では通信路の特性に応じた、物理層と上位層に跨るクロスレイヤ構成の柔軟なセキュア伝送を探究します。教育面では、組み込みシステムエンジニアとしての10年間の経験を生かし、高等教育機関として理論と実践のバランスのとれた指導に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

次世代の学習支援 システムの研究開発

理工学部 助手 上野 春毅



本年4月に着任しました上野春毅と申します。以前はITエンジニアとして大規模な情報システムの開発に従事していました。最近注目を浴びているAI技術を活用した情報システムの研究開発にも関わった経験があります。

私は教育や学習のための情報システムに関する研究をしています。近年急速な成長を遂げているAIやICTの技術を積極的に取り入れながら、次世代の学習支援システムを模索しています。本学では、エンジニアの経験を活かしながら本学独自のポータルシステムやeラーニングシステムの開発に従事し、これらの情報システムを通じて学生の日頃の学びに対してより充実した支援ができるように務めていきたいと考えています。

実は私は本学の卒業生の一人でありまして、学生の頃から関わりのある本学にとっても愛着を持っています。微力ながらも、これまでの経験をもとに研究・教育・地域貢献に一生懸命努めていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

新入職員挨拶



入試広報課 入試広報係
木下 直人

2021年4月より公立千歳科学技術大学に採用になり入試広報課入試広報係に配属となった木下直人と申します。前職ではメーカーにて営業職に就いておりました。業界も職種も異なる仕事であり、日々新鮮で楽しくやりがいを感じております。まだまだ至らない点が多く、ご不便をおかけしますが一日でも早く仕事を覚え、本学の魅力を最大限PRできるように広報活動に拘りを持ち精一杯務めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



学生支援課 学生係
八木 花音

2021年4月1日より、学生支援課学生係の業務に従事しております八木花音と申します。学生さんと関わることの多い学生係ですので、学生さんの視線を忘れずにもち、どの業務も行っていきたいと考えています。わからないことが多く、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、本学の発展への貢献と、安心した学生生活を過ごすことができるよう、精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

2021年度入試結果

		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	前期日程	125名	379名	3.0	365名	155名	150名
	公立大学中期日程	55名	707名	12.9	346名	115名	58名
総合型選抜		18名	63名	3.5	63名	20名	20名
学校推薦型選抜	学校推薦型A(千歳地区)	12名	11名	0.9	11名	8名	8名
	学校推薦型B(全国)	30名	77名	2.6	76名	35名	35名
合計		240名	1,237名	5.2	861名	333名	271名

2022年度入試日程

試験種別		出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	前期日程	2022年 1月24日(月)~2月2日(水)	2022年 2月25日(金)	2022年 3月6日(日)	2022年 3月7日(月)~3月15日(火)
	公立大学* 中期日程	2022年 1月24日(月)~2月2日(水)	2022年 3月8日(火)	2022年 3月21日(月)	2022年 3月22日(火)~3月26日(土)
総合型選抜		2021年 9月1日(水)~9月10日(金)	本学HPまたは学生募集 要項を参照してください。	2021年 11月9日(火)	2021年 11月10日(水)~11月18日(木)
学校推薦型選抜 ・学校推薦型A (千歳地区) ・学校推薦型B (全国)		2021年 11月10日(水)~11月18日(木)	2021年 12月4日(土) 12月5日(日) ※出願者数により、 12月4日(土)の1日で 実施する場合があります。	2021年 12月15日(水)	2021年 12月16日(木)~12月24日(金)

*公立大学中期日程は、志願倍率により2段階選抜を実施する場合があります。2段階選抜を実施する場合、第1段階選抜の結果は2月18日(金)に発表します。

大学案内が完成しました



2021年度版「大学案内」が完成しました。公立千歳科学技術大学の情報が満載です。大学や学科選び、将来について考える際に、ぜひご活用ください。ご希望の方は、本学ホームページよりご請求いただけます。(送料は請求者負担となります。)

資料請求ページは
こちら



2021年度

オープンキャンパス日程

第1回 6/13(日) Webオープンキャンパス
第2回 8/7(土)・8(日)
第3回 10/3(日)

時間 13:00~16:15

今年度のオープンキャンパスは、来場型とWeb型で開催いたします。高校生や保護者の方々に大学を知っていただく機会として、本学の学部・学科の特色、入試制度や研究室など科技大の魅力をご紹介します。詳細については、本学ホームページをご覧ください。

※オープンキャンパスへのご参加は大学ホームページからの事前申し込みが必要です。各回とも定員になり次第、締切となります。
※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、変更になる場合があります。

【無料送迎バス】

▼
第2回オープンキャンパス
(8月開催)のみ
旭川・帯広・函館から無料
送迎バスを運行します。
※事前予約制

奨学金の寄附に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略)公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

寄附者ご芳名
(2020年11月1日から2021年4月30日まで)

齋藤 聡 佐藤 亜紀子 水山 辰也
阿部 安希子 古川 真由美 峠 秀一
安藤 広美 堀野 一生 ほか匿名希望の方9名
敬称略

ご寄附に関する詳細につきましては、
本学ホームページをご覧ください。

